

DX宣言書

経営理念

「企業の継続的な繁栄に向け、社員の幸福と地域社会への貢献を目指す」

有限会社金海商店
代表取締役 新井 善和



DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル教育やデジタル技術の活用を通じて、全社員が働きやすく、やりがいを感じられる職場環境をつくります
- ◆ 廃棄物処理プロセスの見える化により、関係者がリアルタイムに必要なデータを把握でき、透明性および信頼性の高い廃棄物処理体制の構築を目指します



DX戦略・施策

>フェーズ1(現在～2026年3月)

戦略：「DX推進に向けた計画策定・体制整備と社内業務基盤の構築」

- 施策
- 現状の業務や課題を整理し、具体的な実行計画を策定します
 - 実行計画を推進するため、各部門でDX推進責任者を任命し、推進体制を整備します
 - ヒト・モノ・情報を一元管理し、必要な情報をリアルタイムに共有できる業務基盤を構築することで、情報共有の遅延や入力ミス、重複作業等を改善します

>フェーズ2(2026年4月～2027年3月)

戦略：「アナログ業務や紙管理の見直しによる業務効率化」

- 施策
- 取引先間での契約・請求・報告等をオンラインで完結し、契約書・請求書等の各種帳票を電子化・クラウド保管することで、ペーパーレス化と業務効率化を推進します

>フェーズ3(2027年4月～2028年3月)

戦略：「廃棄物処理プロセスの可視化とデジタル化」

- 施策
- 廃棄物の種類・量・排出元・処理状況等の情報管理をデジタル化するとともに、廃棄物処理プロセスをシンプルに見直すことで、関係者が必要な情報を適切かつリアルタイムに把握できる仕組みを構築します



DX推進体制

- 代表取締役がDX推進における統括責任者を務め、全社的に推進します
- 各部門でDX推進責任者を任命し、DX戦略・施策実行の中心的役割を担います



DX推進目標

- 紙の使用量：2024年度比 50%削減(～2028年3月)
- 事務作業時間：2024年度比 30%短縮(～2028年3月)
- 廃棄物処理プロセスの情報開示：実行計画の策定(～2028年3月)